

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析

今後の体育・健康に関する教育の推進について

体育・健康に関する指導については、生徒の現状や課題の把握の上に立って、学校としての全体計画及び指導計画を作成します。

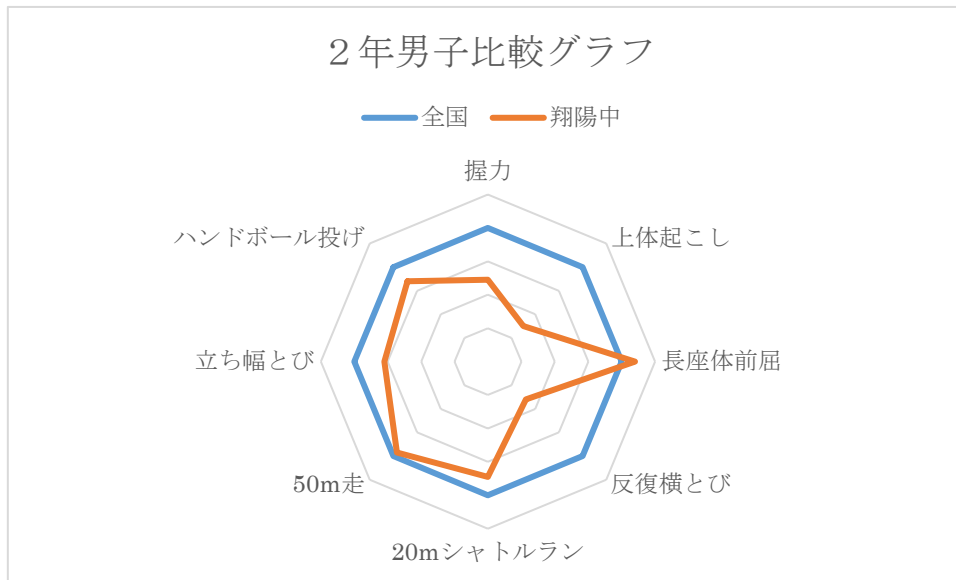
- ①各学校の生徒の体力や運動能力の動向については、全校調査等と比べてどこに課題があるかを把握した上で、全体計画や各教科等の指導計画を作成する際に重点を明確にした取組ができるように工夫します。
- ②保健・体育科のみならず、学校行事等についても体育・健康の観点から重点を明確にした取組を行います。
- ③学校生活の全般で生徒が適切に身体を使った活動ができるように配慮します。
- ④健康の維持・向上には生活習慣が深く関係することから、生徒の生活実態の調査を踏まえ、家庭と連携し健康的な生活が行われるような取組を進めます。

本校では、令和3年6月に、全校生を対象に新体力テストを行いました。その中から、2年生を対象として実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果をまとめたものをお知らせいたします。

■体格調査

体格調査については、男子は身長は全国平均を上回り、体重は全国平均を下回っている。女子の身長・体重は全国平均を下回っているという結果が出ました。

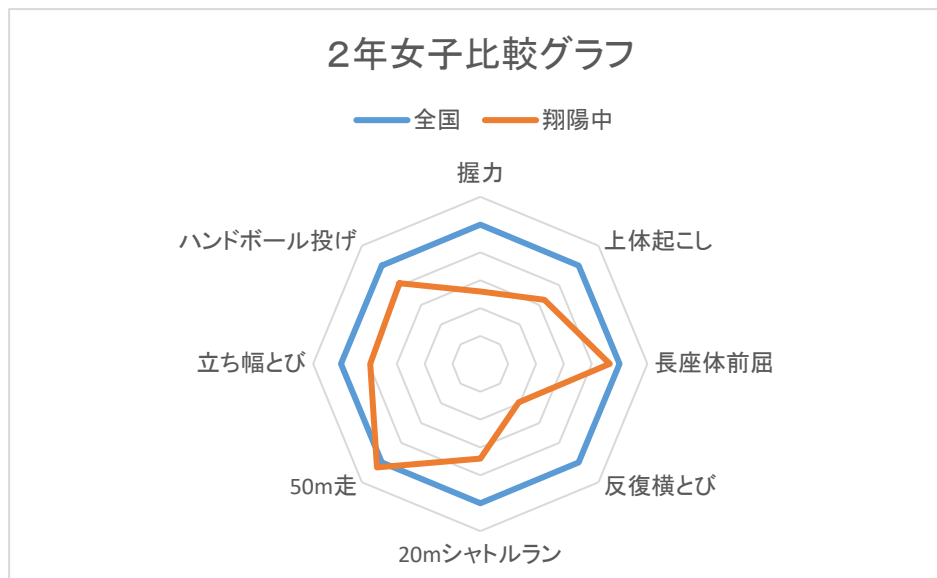
■実技に関する調査



※全国を50としてみたときの比較

【男子】

「長座体前屈」については全国平均と同程度の結果となっています。その他の項目は全国平均を下回っています。「上体起こし」「反復横とび」に課題が見られます。



※全国を50としてみたときの比較

【女子】

「50m走」が全国平均を上回り、「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」「握力」が、全国平均を下回る結果になっています。

【分析】

体力の要素から見ると、男女とも全国平均を下回る結果がみられました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組として、部活動の練習が年間3ヶ月練習できていない状況であり、運動する機会が減っていたことが原因として考えられます。体力向上を目指し、感染症対策を徹底しながら、授業の最初に柔軟運動や体力作りの運動をする等、工夫して運動に取り組むことが大切であり今後の課題となりました。

■生徒質問紙の結果

生徒質問紙では「運動が好き」と答えた生徒が、男子64.4%、女子55.1%で全国平均を上回っています。多くの生徒が運動部やスポーツクラブに所属していることが、種目によっては全国平均を上回る、または、同等の数値結果につながっていると考えられます。

中学卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいという生徒が多く、今後も様々な場面で運動する経験を通じて、体力の向上や運動への関心を高め、体を動かすことが楽しい、得意だと感じられる生徒の育成を目標とします。

生徒質問紙の、「平日の、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか」の質問において、4時間以上5時間未満の生徒の割合が男女とも20%と、課題がみられました。